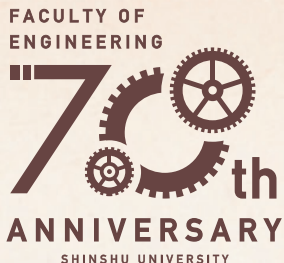


昭和20年頃の  
長野工業専門学校



## 信州大学工学部 創立70周年記念事業 募金趣意書



信州大学工学部は、2019年に創立70周年を迎えます。工学部は、昭和24年（1949年）に設立された信州大学の発足にあたり、当時長野市にあった長野工業専門学校を母体とし、戦後の産業再生の中、長野県ものづくり産業への人材供給を目的として設立されました。設立当初は、機械工学科、電気工学科、通信工学科、土木工学科の4学科でしたが、社会の要請に応えるため、幾度となく学科再編が行われ、現在は、物質化学科、電子情報システム工学科、水環境・土木工学科、機械システム工学科、建築学科の5学科で教育研究及び地域貢献活動を行っています。また、大学院総合理工学研究科（修士課程）、大学院総合医理工学研究科（博士課程）が整備され、二千八百余名が学ぶキャンパスへと発展しました。

研究活動においては、工学部内の教員を主体に設置されている先鋭領域融合研究群の2研究所（カーボン科学研究所と環境・エネルギー材料科学研究所）と2研究センター（航空宇宙システム研究センターと食農産業イノベーション研究センター）が発足し、活発に研究を行ってきました。こちらも5年が経ち改組が行われ、平成31年度には3研究所と3特定研究拠点に代わり、新たにスタートしました。工学部の教員はこれらのうち、先鋭材料研究所と航空宇宙システム研究拠点を主に支えると共に、社会基盤研究所と山岳科学研究拠点にも参画しており、幅広い研究を展開しています。特に、世界の水を守る研究を展開しているアクア・イノベーション拠点は、平成25年度にセンター・オブ・イノベーション事業として国から採択を受け、研究開発を進めており、9年間のプロジェクト期間のうち7年目に入り、社会実装に向けた研究へと展開され、多くの成果が生まれつつあります。今後の人間社会を支える工学技術は、蓄電や省エネルギー関連の環境・エネルギー技術、人間の生活のQOLを支える食や健康に関連する技術、またSociety5.0社会の実現のための人工知能やロボットなど、工学が貢献できる分野は多岐にわたっています。国際科学イノベーションセンターの建物や最先端の機器類、それらにも増して工学部の人的資源を活用して、ますます社会貢献を果たしていきたいと心新たにしております。

信州大学工学部創立70周年記念事業は、設立当初の理念に立ち返り、信州大学工学部の新しい時代に向けた出発点と考えております。元号も新たに令和となり、社会の要請に応えられるよう時代を先取りした未来輝く工学部を目指して活動を活発化させていきたいと考えておりますので、地域の皆様、企業の皆様、同窓会の皆様など関係する皆様には工学部の活動にご理解をいただき、ご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。



2019年7月吉日  
信州大学工学部長  
天野 良彦